

事業別助成金推移表
(平成7年4月15日)

(単位:千円)

		平成6年度助成金(実績)		平成7年度助成金(計画)	
共同助成事業 (P. N. F)	調査研究助成 国内	9件	10,130		
	海外	4件	6,470		
	活動助成 国内	5件	5,400		
	海外	0	0		
	小計	18件	22,000	20件	22,000
自主助成事業	調査研究助成 国内	4件	7,000		
	海外	1件	5,000		
	活動助成 国内	0	0		
	海外	0	0		
	小計	5件	12,000	10件	22,000
	合計	23件	34,000	30件	44,000

平成6年度（1994）第5期助成金交付一覧

国内活動助成

単位：千円

No.	研究テーマ	助成先	代表者	助成額
1	希少ウミスズメ類の現状と保護	日本ウミスズメ類研究会	青山莞爾	2,000
2	穴塚大池自然環境総合調査報告書の作成	穴塚の自然と歴史の会	森本信生	1,040
3	サハリンにおける野鳥保護思想の普及	極東鳥類研究会	藤巻裕蔵	1,070
4	岩木山の景観と生物相の保全のための自然保護活動	岩木山を考える会	正木進三	600
5	名古屋近郊の里山(海上の森)を守るための調査および資料集の作成ー県立自然史博物館の森構想の提案に向けてー	ものみ山自然観察会	曾我部行子	690
合 計				5,400

国内調査研究助成

No.	研究テーマ	助成先	代表者	助成額
1	コシガヤホシクサの保護増殖に関する研究(継続)	コシガヤホシクサ研究グループ	宮本 太(東京農業大)	550
2	シマフクロウの生息環境の保全に関する研究(継続)	シマフクロウ研究グループ	小野有五(北海道大)	1,430
3	御蔵島原生自然植生域の生態学的研究(継続)	御蔵島自然研究グループ	星野義延(東京農工大・農)	1,300
4	能取湖アッケシソウ群落の保全	グローバル塩性湿地研究会	加藤 茂(東京農業大・農学部総研)	1,300
5	野生生物の保護に係わる国際条約の国内での具体化に関する研究(継続)	野生生物の保護に係わる法体制検討会	磯崎博司(岩手大・人文社会)	850
6	神津島及び新島における食物連鎖構造の解明と移入動物の影響	島嶼生態系研究会	長谷川雅美(千葉県立中央博物館)	1,300
7	奥日光におけるニホンジカの植生に及ぼす影響と生態系の保護管理	奥日光シカ研究グループ	小金沢正昭(宇都宮大・農)	1,200
8	半野生ジカの給餌の影響とホームレンジ利用に関する研究	金華山島シカ行動研究グループ	高槻成紀(東京大・農)	1,000
9	日本国内におけるカメ類の分布および生息状況	日本カメ類研究会	矢部 隆(名古屋大・人間情報学)	1,200
	白保サンゴ礁保護研究センター(仮称)準備室の設置と普及教育活動の実施	(財)世界自然保護基金日本委員会	羽倉信也	2,000
※	サハリンの自然保護区及び近隣地域における自然環境調査(継続)	サハリン自然環境調査グループ	伊藤浩司(静修女子大)	2,000
※	北海道の湿原の変遷と現状の解析ー湿原の保護を進めるためにー(継続)	北海道湿原研究グループ	辻井達一(北海道大)	2,000
※	長良川河口堰事業モニタリング調査(5年間継続の第2年度)	長良川河口堰事業モニタリング調査グループ	田中豊穂(中京大)	1,000
合 計				17,130

海外調査研究助成

No.	研究テーマ	所属機関	代表者・()内推薦者	助成額
1	ジャコウジカの保護管理のための生態と行動に関する研究	中国華東師範大学(中国)	盛 和林 (三浦慎悟・農水省森林総研)	1,080
2	タンガニーカ湖の生物多様性とその保護	ザイール国立自然科学研究センターウビラ研究所(ザイール)	Masta Mukwaya GASHAGAZA (川那部浩哉・京都大)	1,870
3	バイカル湖、セレンガ川およびセレンガデルタ環境の生態化学的モニタリングー生物相保全の視点にたってー(継続)	バイカル湖水環境研究会(ロシア)	Albert Beim (林 進・岐阜大)	1,280
4	キナバル山城の蛇紋岩植生の調査	サバ州公園局(マレーシア)	Lamri Ali (北山兼弘・ハワイ大)	2,240
※	フィリピンの絶滅危惧植物調査	フィリピン国立博物館(フィリピン)	Domingo Madulid (岩槻邦男・東京大)	5,000
合 計				11,470

助成金総額	23件	34,000
-------	-----	--------

(P. N. ファンド助成金額)	(18件)	(22,000)
(直接助成金額)	(5件)	(12,000)

※：当基金の自主助成事業